

令和6年度（荏田高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（	不祥事防止に係る法令遵守意識の醸成、向上	・不祥事防止研修会や朝の打合せ、職員会議での校長からの連絡事項を通じ、タイミングよく注意事項や事例を用いて日頃から事故不祥事防止に係る確認を行うことにより、法令遵守の意識の醸成、向上することができた。
職場のハラスメントの防止	セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止	・不祥事防止研修会等を通じ、ハラスメント防止の意識を醸成することにより、職員相互の情報共有や意見交換が行われ、ハラスメントのない職場を保持することができた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ行為等、不適切な指導の防止	・研修会における事案の紹介等の情報提供、生徒とのSNS等利用の禁止の徹底等を通じ、未然防止に取り組んだ。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導の根絶	・部活動指導を中心に、熱心な指導と体罰や不適切な指導とは異なることの周知・徹底を図り、事故不祥事の未然防止に取り組んだ。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜学力検査、進路関係書類の取扱いにおける事故防止	・入学者選抜業務における作業手順を徹底し、複数の教員によるチェックを確実に行った結果、公正な選考を実施することができた。 ・調査書・推薦書の作成及び取扱いについては、組織的な点検を行い、不祥事防止を達成した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	保護者承諾書、持ち出し手続きの等の徹底	・個人情報の持ち出しや学校説明会に伴う個人情報の収集等について、取扱いの徹底を図り、事故なく業務を実施できた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	各種法規の遵守に努める。	・車輛等の運転者は常に安全運転に努め、交通法規を遵守した。
業務執行体制の確保等	業務協力体制と相互チェック体制を構築し、円滑な業務執行体制を整える。	・グループリーダーや学年リーダーを中心に報告・連絡・相談が円滑に進む業務体制がスムーズに行なわれ、情報や仕事の流れが円滑になった。
財務事務等の適正執行	県費、私費の迅速で適正な執行と、事故の未然防止	・私費会計のルールについて担当職員に徹底し、年間を通じて適切な会計の執行が行われた。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題（学校長意見）

令和6年度は、これまでの不祥事防止のしくみに加えて、不祥事防止研修会等を通じ職員の同僚性の向上を図るべく職場環境の改善を図り、お互いに良い意味での指摘ができ、事故や不祥事の防止に繋がったと考えている。

令和7年度もこの結果に甘えることなく、さらなる良い人間関係づくり（同僚性の向上）及び事例検証を踏まえた適切な改善を行うことで不祥事ゼロに取り組む。